

(2)パイロット事業の実証実験プランについて

～ 山梨県地方協議会事務局 ～

「トラック輸送における取引環境・労働時間改善山梨県協議会」にお ける

パイロット事業の進捗状況

第1回検討会

- 目的と方針の共有
- 実態の確認

10月27日

※着荷主のみ11月17日実施

第2回検討会

- 課題と改善策
- 実証実験プランの
検討

12月16日(予定)

第3回検討会

- (結果分析)
- (まとめ)

(未定)

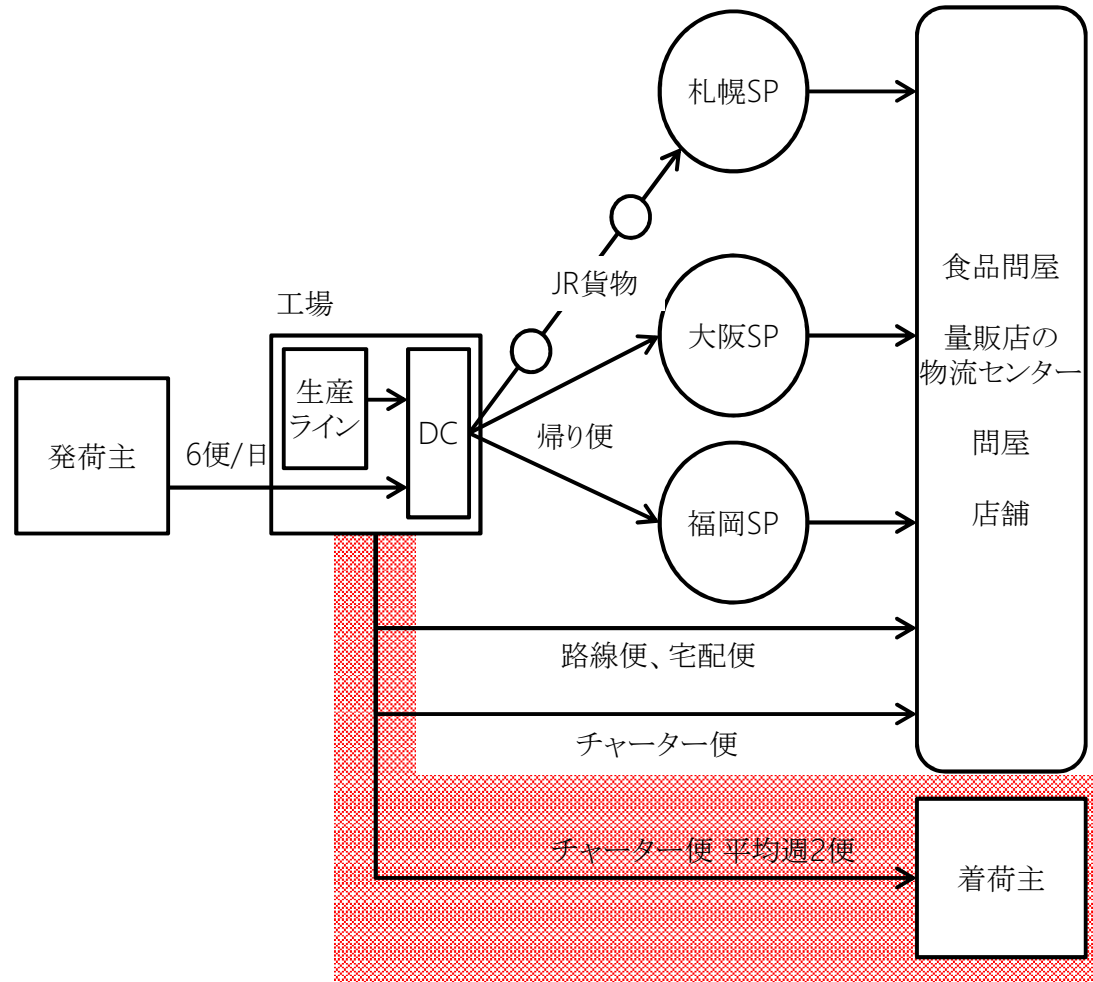
(株)運輸・物流研究室

1. 対象集団の概要

	発荷主	着荷主	元請・実運送事業者
企業名	非公開	非公開	非公開
事業所所在地			
業種	食品製造業	卸売業 (100%物流子会社)	一般貨物自動車運送事業 産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬
規模			

2. パイロット事業の対象拠点と物流実態

(1) 物流拠点と輸送フロー



本パイロット事業の対象分野

中央工場入荷

- 地方工場の製品を6便/日のピストン輸送で中央工場に集荷。

中央工場出荷

- 地域のストックポイントに、JR貨物及びチャーター便で輸送。
- 納品先配送には、物量によりチャーター便、路線便、宅配便を利用。
- 運送事業者は、流通センターほか、関東・東海・山梨地区の配送を担当。



2. パイロット事業の対象拠点と物流実態

(2) 荷主企業と運送事業者の取引実態

■ 輸送戦力

- ① 構成員事業者への委託状況
 - ストレッチフィルム巻き
 - 積込み
 - 輸送
 - 荷下し
- ② 輸送分野
 - 関東・東海・山梨地区配送
- ③ 委託シェア
 - 路線便を除く全委託車両中約25%を運送業者に委託
- ④ 使用車両(車種・台数)
 - 自社車両 : 11トン車2台、4トン車5~6台
 - 備車 : 最大時11トン車4台、4トン車5台

■ 物流条件

- ① 積込作業
 - 発荷主構内作業員がピッキング、パレット積み(日中)
 - 運送事業者ドライバーがフォークリフトで積込み(深夜)
- ② 輸送条件(高速使用等)
 - 原則として高速を利用しているが、割高な圏央道は使用せず。
- ③ 納入時刻等の着荷主(物流センター)の条件
 - 受付時間6:00~11:30。受付順に着床。
 - 受付時間に間に合わなかった場合は翌日まわし。
 - パレット下ろしを推奨しているが、バラ下ろしも受け入れ。
 - サンコー、JPRパレットプールシステムによる一貫パレチゼーション推進中。
- ④ 運賃体系
 - 貸切距離制

3. 問題点とその要因

(1) 物流の効率性からの視点

① 車両手配が困難になることがある

- 発荷主の出荷依頼締め時間以降にも注文が入り、車両手配が困難になることが週1～2回発生する。
- 発荷主のITシステム上、締め時間以降も入力が可能になっているため。

② 着荷主での手待ち時間が長い

- 到着後受付開始時間前の待ち時間と、受付後着床までの時間合計で、平均3～4時間。
- 着荷主での受入れ能力不足、受付予約した車両が優先されるため。
- 順番を取るために、ドライバーが必要以上に早く到着するため。

③ 着荷主での荷下し時間が長い

- 荷下しに平均2時間かかっている。
- 輸送はパレットで行っているが、荷下し時バラ下ろし(手下ろし)をしているため。
- 物流センターはパレット下ろしを推奨しているが、パレット専用バースのほうが車両が集中して待ち時間が長いことと、指定の積み方を遵守すると積載効率が落ちるため、発荷主・運送事業者ではバラ下ろしを行ってきた。

(2) 労働時間短縮等からの視点

① 1日の拘束時間が延長することがある

- 着荷主到着後平均3～4時間の手待ち時間があるため。

② 連続運転時間が延長することがある

- もうすぐ到着できるという場合に、ドライバーが走り続けるため。

4. 想定される改善策の分野と概要

(1) これまでの改善への取り組み

① 発荷主

近年物流改善を積極的に進めている。実施済みの主なものは以下の通り。

- 生産工場の集約
- 各工場内倉庫機能の中央工場への集約
- 地域ストックポイントへの輸送にJR貨物の活用
- パレット荷役

運送事業者の改善要望も細かな部分含め積極的に受け入れている。

運送事業者は深夜積みを認めてもらうことで、昼間の積込み手待ちを解消した。

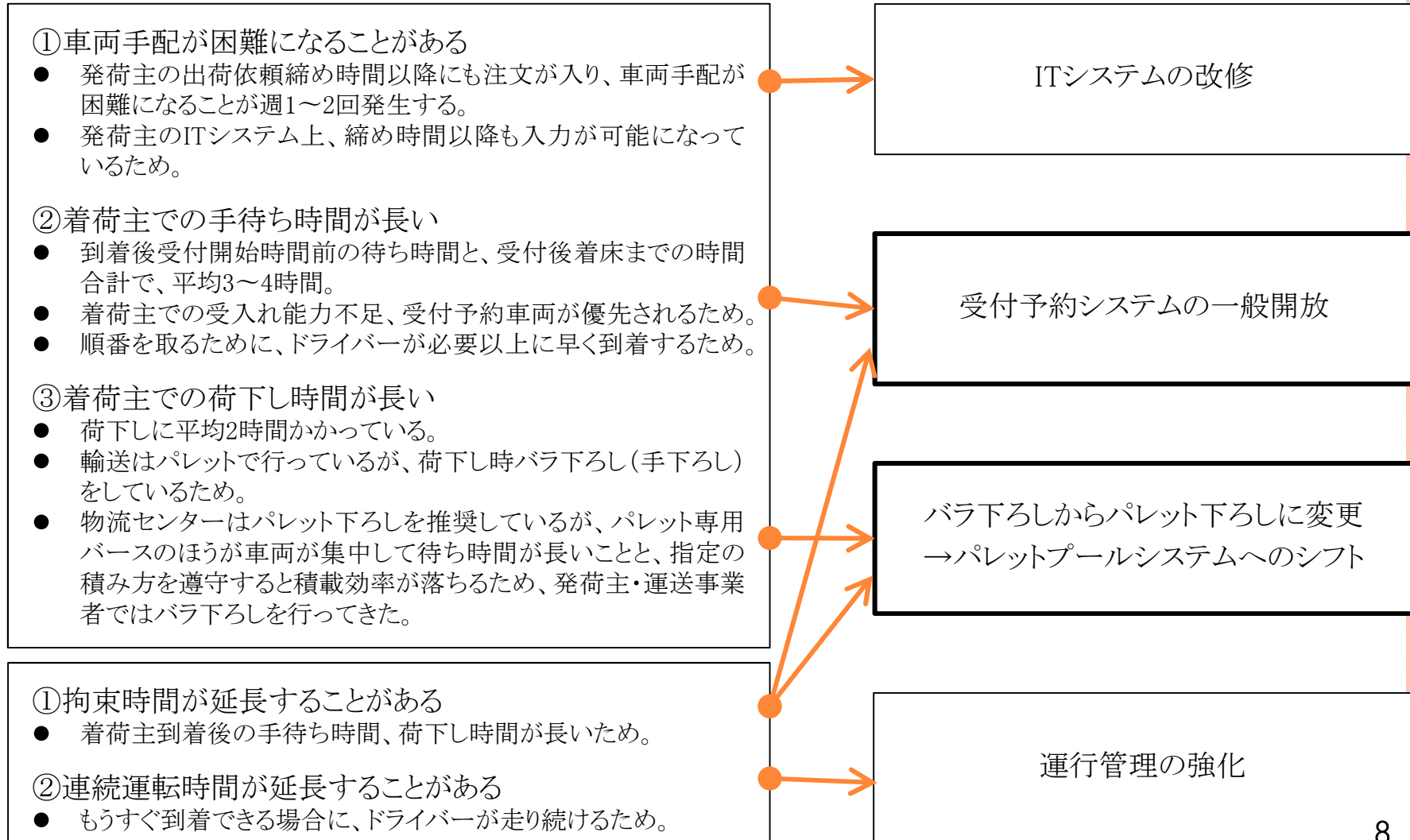
② 着荷主／物流センター

発荷主からの入荷に関連する部分として、以下の物流改善を進めている。

- パレットプールシステムを活用した一貫パレチゼーションを推進中。
- ドライバー受付予約システムを試験導入中。現在は物流センター車両のみでテスト運用中。

4. 想定される改善策の分野と概要

(2) 現状の問題点に対する改善案



5. 実証実験のプラン(案)

①対象分野

- 着荷主における手待ち時間と荷役時間の削減

②実験期間 <12/16検討会で決定予定>

ビフォア : 平成29年〇月〇日～〇月〇日

アフター : 平成29年〇月〇日～〇月〇日

③改善策の概要

- 受付予約システムを実験期間のみテストユーザとして使用し、手待ち時間の短縮効果を検証する。
- パレット下ろしを行い(パレットプールシステム)、荷役時間の短縮効果を検証する。

④実験方法

- 始業～積み込み～運転～流通センターでの作業終了までの各時間を、従来方法と実験方法の2通りで計測する。
- 積載数を従来方法と実験方法で計測する。
- 作業負荷などドライバー意見を収集する。

[事前準備]

- 受付予約システムのID/PW発行 (物流センター → 運送事業者)
- 調査票の設計

[必要機材等]

- 受付予約用ネット接続PCまたはスマートフォン

